

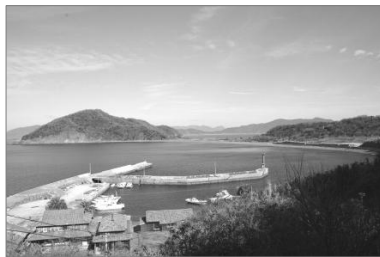
上関てくてく散歩シリーズ(2) 八島地区

「上関てくてく散歩シリーズ」の2回目は八島地区です。

上関・室津から定期船「かみのせき丸」で約35分の沖合に浮かぶ八島。山口県最南端の島です。石垣の上に建つ家々の間の細い路地を、美しい瀬戸内海を眺めながらのんびりと散歩できます。写真や絵画が趣味の方にはおすすりめです。島には宿泊施設がありませんので、日帰りの旅です。



傾斜地の家は段々畑のような石垣の上に建てられている。



坂道の上から港の風景を眺める。

◎定期船時刻表

	上関→八島行き			八島→上関行き			
	1便	2便	3便	1便	2便	3便	
上関	6:15	10:00	16:30	八島	6:55	13:00	17:10
室津	6:20	10:05	16:35	室津	7:35	13:32	17:42
八島	6:50	10:35	17:05	上関	7:38	13:35	17:45

料金：八島→上関 580円、八島→室津 570円



定期船かみのせき丸

八島小学校跡 廃校になった小学校跡地には、校門や時計台、給食室など、当時の面影が今も残っています。



八島ふれあいセンター 2010年に完成した地域のコミュニティセンターです。診療所もこの中にあります。

八島簡易郵便局 ふれあいセンターの向かいにあります。

浄慶寺 川口先生の描いた襖絵があります。先生はここからの風景が大好きだったそうです。



《八島へのマップ》



坂本商店
食料品や日用雑貨を販売しています。島での生活には欠かせないお店です。



川口健治ミニ絵画館 株式会社島屋さんの八島寮が「川口健治ミニ絵画館」として公開されています。開館日は不定で、管理人さんが島にいらっしゃる時だけオープンしています。館内には、川口健治先生の絵画の他、八島の昔の写真なども数多く展示されています。(右の写真)

八島は、画家・川口健治先生の出身地です。島内には川口先生の絵などを展示したミニ絵画館もあります。今回、川口先生の思い出を、先生のお嬢様の大海仁子(おおみよしこ)さんと、先生の教え子のYAKOさんより寄稿いただきましたので、ここに紹介します。

「父の思い出」

おおみよしこ
大海仁子さん

自転車で、散歩に連れてってくれた。景色や、私をカメラで撮ってくれた。スケッチの時は…基本一人あそび。父が絵を描いている時は…相手してもらえないのが当た

り前と思っていた。

私の息子が3才のとき…、京都から帰り『お爺ちゃんあそび』と『いっちゃんあそび』…絵を描いているからソラとあそべんのよらあそびね』といって絵を描いていた。が…プラーレルで遊ぶ息子が『いっちゃんあそび』で製作してくれて、また絵を描いていた』と伝えにきた。

コインや爪楊枝で手品してくれたり、夜中懐中電灯を顔の下から照らして登場。ハッとすること愉しさを与えてくれる人だった。が、基本、絵を描いている姿が一番に浮かぶ！

「川口先生との思い出」 YAKOさん

川口先生には、私が高校に入学してから3年間、柳井工業で美術を教えて頂きました。3年生の時は担任でもありました。初めての授業は、確か「牛乳ビン」のデッサンだったと思います。みんなそれぞれに一生懸命画いたのですが、先生の評価は、やんわりと「皆さんへたくそですな〜」でした。一同ガツクリとしたけれど、その後クスクスと笑いが起こりました。

また、当時テレビで放映されていた「山口のむかし話」の絵を先生が担当され、その絵の制作中に学校内の先生の部屋を訪ね、休み時間ずっと眺めていました。あんまりサラサラと画かれるので「簡単じゃね〜」などと失礼な事を言っても「ニコニコ」されて「簡単ですよ」と笑っておられました。

穏やかで優しい先生との思い出はたくさんあります。そんな先生が私達の恩師である事をとても誇りに思っています。



◎「わいわいタイムス」 11月号は11月4日(日)発行予定です。